

皆様

今回は、金沢の伝統工芸の一つである加賀友禅をご紹介します。

友禅とは、染物の技法、その作品を指しますが、加賀友禅は、加賀独特の梅の木を材料とした染織等が源流となり、18世紀前半、宮崎友禅斎により基礎が築かれたものです。加賀の武家文化を背景に、草花を中心とした写実的な絵画調の柄が特徴と言えます。

近年は、加賀友禅の業界はライフスタイルの変化とともに、きもの離れが急速に進んで需要が低迷していましたが、金沢市は、昨年7月に加賀友禅の活性化を図るため、加賀友禅技術振興研究所を設立したところです。

その研究所において、今年の7月8日に運営委員会を開催し、この秋に産地支援を目的とした「加賀友禅ファンクラブ」を発足させることなどを確認しました。

会員は全国から募り、新製品の情報などを随時提供するため、会報誌を発行するほか、工房見学や着付け教室へ招待するなどの特典を用意する予定です。

また、秋には「加賀友禅まつり」を開催し、着物や和装小物などを求めやすい価格で展示販売することや、新製品開発、新たな流通ルートの開拓に引き続き取り組む予定です。

今後も、クラフト創造都市・金沢は、「手仕事のまち」として、藩政期以来受け継ぐ手仕事である加賀友禅を活性化するため、これらの取り組みを推進していきます。

それでは、皆様ますますご健勝にてご活躍されることを願って、日本国金沢市創造都市推進担当より

(加賀友禅)

